

不退転

第 120 号
東江中学校
校長 神元 勉

栄養教諭による栄養指導



15日(水)の給食時間に、栄養教諭の宮城通子先生が3年生の教室を訪れ、栄養(食育)指導を行いました。

「食に関する正しい知識の理解を深め、望ましい食習慣を身につけさせる。」ことがねらいです。これは昨年から取組で、毎学期、給食時間に学年毎に各教室を訪れ、指導しています。当日は、「和食の日」の紹介と「ごはんのよさ」について説明しました。

他校では見られない、大変素晴らしい取組に感謝申し上げます。どうもありがとうございます。

JAPAN WEB MAGAZINE

旅とグルメと温泉と 自然と写真を愛する人へ

<http://japan-web-magazine.com/>

11月24日は「和食の日」



そこで、私もネットで「和食の日」について調べてみました。 ■「和食」文化の保護・継承 国民会議(略称「和食会議」)は、「五穀豊穣」「実り」のシーズンを迎えて、和食の食彩が豊かな秋の時期において、毎年日本の食文化について見直し、「和食」文化の保護・継承の大切さについて考える日として、2013年11月24日(いい日)本食の日を『和食』の日として申請し、認定された。

「和食」日本人の伝統的な食文化が2013年12月ユネスコ無形文化遺産に登録された。「和食会議」では、これを機に11月全体を『和食月間』と位置付け、日本全国の一人ひとりが「和食」文化について認識を深め、次世代に「和食」文化を保護・継承していくことの大切さを共有していくためのきっかけづくりを行う。全国の「和食会議」会員が中心となり、全国各地の「和食」文化に関するさまざまな場面で、あらゆる立場の方が参加・協力・連携した運動を展開していく。

「愛楽園で学んだこと」

1年 小川 美紅

最初に講話を聞いて学んだことは、ハンセン病で人々がどれだけつらい思いをしてきたのかということ。ハンセン病の人々は、多くの方から差別や偏見を受けてきて、親にも家族にも迷惑がかかったり、一生出ることのできない収容所に入れられたりするので、とても心が痛くなりました。見学では、早田塚に行き、ちよっと中に入ってみると、暗くて狭かったし、何よりこの中に千人もいたというのが、びっくりでした。その他にも、展示室や面会室、納骨堂に行つて、たくさんのことを学びました。

事前学習と愛楽園に行つてみて、改めてハンセン病のことについて深く知つたし、体験者の話を聞いて、もっと知りたくなつたり、伝えたいという気持ちになりました。

交流会では、ソフトバレーボールをして、おばあちゃんとかおじいちゃんたちは、元氣いっぱい、みんなと楽しく過ごせたので、普通に接していれば、いつもみたいに過ごせることがわかりました。

愛楽園で学んだことを今後の生活に生かせることは、みんなと平等に接して、みんな笑顔で楽しく過ごすことです。差別は誰一人利益を得ないし、人を傷つけるだけだからです。

先日は、お忙しい中、ありがとうございました。みなさんから学んだことを今後の生活に生かせるようにします。